

うところを切った方がよいと思います。

C₀ あー、あー (多数)

T₅₀ 切った方がいい？二つの場面に分けちゃうの？
わけた方がいいと思う人？それとも、このままにしておいた方がいいか、考えてください。

C₃₀ 切った方が——。

C₃₁ 分けた方が——。

T₅₁ 分けた方がいい？ちがうこと書いてあるの。この中に。

C₃₂ うーん、えー、そうじゃない。(5・6人)

T₅₂ どうか。安齋君。これは何のことだと思います？

C₃₃ はい。北海道のようすはどうかということ——。

T₅₃ 教科書のことかというと？教科書に書いてあった分け方かというと、これは、何のところだ？

C₃₄ たずねること。

T₅₄ たずねることだよ。だから、ここは、たずねることで、このままにしておいてもいいんじゃないか、ね。「たずねること」ね、え。大沼さんにいくつかたずねている。このままにしておいてみましょう。

T₅₅ じゃ、これはどうでしょう？ (T・P)

T₅₆ 直した方がいいところあるかな。これはね、これだけ見るとちょっとわからないんだかも知れないけれども、これで見てください。

(全文を写す)

C₀ うーんと、(みんな考える)

T₅₇ ね、このへんに気をつけて、(指示)

C₀ ——

T₅₈ いまやっているのは、この⑦ばんのところね。

C₀ はい (多数)

T₅₉ ちょっとむずかしいかな。

C₀ はい (多数)

T₆₀ はい。塩田君。

C₃₅ はい。あの、ぼくの、ぼくの、大沼さん、そちらのすみごちはどうですか、というところ、7番の方にさげて、7番の方を9

そして、多くの子どもたちも、「あー、あー」ということばから考えると、直さなくてもよいと思っていたのであろう。しかし、この子らも、切っ

⑥ 大沼さん、そちらのすみごちはどうですか。どんなところにすんでいるのか教えてください。それから、学校の様子も知らせてくださいね。大沼さんに、また会えるといいな、と思います。

た方がよいと言われてみると、切るべきかなと迷ってくる。

まだ、段落をひとつにまとめてしまった方がよいもの、事柄ごとに、分けた方がよいものの、きめ手となる理由づけが定着していない子がいることを示している。それは、C₃₀、C₃₁、C₃₂などに代表されて出てきているものと考えられる。

C₃₃は、「何のことか」ときかされたので、書かれている事柄について答えている。教師の質問の意図は、「たずねること」という答えを待っているわけである。つまり、「たずねること」というカテゴリで見れば、同じことだと気づかせたいのである。T₅₃は「教科書に書いてあった分け方かというと」と、限定してきいている。それで、C₃₄で、「(あっそうか、そのことか)とわかってくる。T₅₄、考え方を子どもに分かせようとしている。

⑦の部分

⑦ 谷上君と、高野さんが転校しました。でも、わくいけい子さんという人がきました。とてもやさしい人です。

ここでは、順序をかえて(ずっと離れた箇所にあるもの)一つの段落にまとめた方がよい場合もあることを提示している。それで、この⑦の部分だけではわかりにくいので、全文を写し出す。

それでも、なかなか気づかない。むずかしいのである。前に出てきた — 教科書で学んだこと、はじめのあいさつ、知らせること、たずねること — ような考え方をさせ、⑦は知らせるというわくに入るから、知らせることにまとめた方がよいと気づかせたいのである。これは、同じくまとめるにしても、事柄ごとにまとめるだけで番の方に